



BUKATSUDO class



テニスハウスファン春日部校

テニスハウスファンが提案する全く新しい形

BUKATSUDO class

BUKATSUDO class

ジュニアがテニス続けられる環境を

中学生でも硬式テニスをやりたいと考える子供は全国に大勢います。しかし、日本の中学部活動では硬式テニス部が未だ普及しておらず、テニスに触れる機会が少ないのが現状です。さらに、中学校の部活動は、専門的なスキルと知識の無い顧問が指導に当たり、酷い場合は部活動に顔を出さない事もしばしばあります。小学生からテニスを始めたジュニア達が、テニスを続けられる環境を目指し設立されたのがBUKATSUDOクラスです。

クラス概要

開設日 : 毎週 月曜～金曜
 時間 : 16:30～19:00
 クラス定員 : 12名
 クラス対象 : 小学生～中学生（小学生はレベルによっては受講不可）

料金	回数/週	1回	2回	3回	4回	5回
料 金/月々		9,396円	16,632円	22,788円	27,864円	31,860円

振替 : 可能（回数制限無し）
 その他 : テニスハウスファン会員規約に準じます

テニスハウスファンが中学生でもテニスができる環境を作ります

昨今の中学テニス界の課題に テニスハウスファンが出来る事

中学生でテニスに触れる事は難しい？！

全国中学体育連盟の全国加盟校調査集計によると、日本全国で中学体育連盟に加入する中学校数は約10400校で、全国の中学校の99%が加盟しています。しかし、この内全国の硬式テニス部の数は男子テニス部、女子テニス部の数を合わせても457部しか無く、全国の中学校の約4%にしか硬式テニス部が存在していない事になります。対して全国の軟式テニス部（ソフトテニス部）男女合計数は12548部と、ソフトテニス部数は全国の中体連加盟校数より多く、全国のほとんどの中学校にソフトテニス部が存在している計算になります。オリンピック種目でもあり国際的基準にある硬式テニスに触れる機会が、中学校ではほとんど無いのが現状です。中学生が硬式テニスをやりたいと思っても、民間のテニススクールへ通ったり、各団体が主催するテニス教室などへ参加する他ありません。中学校が硬式テニスでは無く、ソフトテニスを部活として設立する理由に「柔らかいボールである方が安全」といった考え方が根強くありますが、国際的に人気のある硬式テニスに早い時期から触れる機会を奪う事は、日本のテニス発展に大きなマイナス要因であると、日本テニス協会も考えています。現在、中学校への硬式テニス部発足に日本テニス協会も尽力していますが、まだまだ中学生が硬式テニスに触れる機会が少ない現状は続いています。

ジュニアがテニスを止める理由

小学生のうちにテニスを始め、上達してきた所で中学校進学。このタイミングでテニスを止めてしまう子供たちが大勢いるのが現在の日本テニス界の現状でもあります。それはやはり、中学校に硬式テニス部が無い為に進学と同時にテニス以外のスポーツを始める子供が多いからです。平成27年現在、春日部市内の中学校数は14校。この内、公立中学校は13校ありますが、市内の公立中学校で硬式テニス部が存在する中学校はわずかに2校のみ。大沼中学校に女子硬式テニス部、豊野中学校に男女硬式テニス部が存在するのみで、春日部市も中学生でテニスに触れる環境が著しく乏しい現状にあります。さらに、中学校からは勉強の内容も科目ごとに細分化され内容が難しくなり進みも早くなります。授業内容を補うために学習塾へ通う子供も増え、学習と部活動の両立でテニスに時間を掛けなくなってしまう事も、ジュニアのテニス離れを招いています。

テニスハウスファンの取り組み

テニスハウスファンでは、そんな中学生のテニス環境を少しでも改善し多くの新中学生にテニスを続けてもらえるようBUKATSUDOクラスを開設しました。本クラスは、中学校の部活動と同じような活動環境設定を行う事で、部活動という集団行動で学ぶ「協調性・自主性・率先力」等を学ぶ事ができ、テニスのスキルだけでなく人間性の成長も図れるように設定いたしました。春日部市内や、近隣の市町村に住む中学生にテニスができる環境を提供する取り組みを行っています。

Creating environment of tennis

全日本レベルのコーチ陣が指導いたします

指導者不足の部活動よりも プロが指導するBUKATSUDO

■ 監督 田中 謙伍 Kengo Tanaka



日本ランキング最高位 シングルス55位
2015年全日本テニス選手権出場
ブリジストンプレーヤー契約

小学生からテニスを始め、インターハイ、インカレ出場や全日本選手権出場を果たすなど輝かしい戦歴を持つ、オールラウンダーです。ジュニア時代から学んできたテニスにおけるノウハウで、クラスの指導法の確立から練習メニューの立案、管理までを総監督致します。

□ 監督よりコメント

今回、監督に就任致しました田中と申します。私自身もジュニア時代からテニスを始め、早くにテニスを始める事の優位性を身をもって感じております。特に、身体が出来始め思春期を迎える中学生の頃に技術面だけでなく精神面も鍛える事が、その後のテニス選手にとっても重要な時期だと考えています。私の育った経験を活かして、このクラスから多くの優秀な選手が生まれる様指導して参ります。

■ 部長 金子 涼介 Ryosuke Kaneko



日本ランキング最高位 シングルス115位
2011年埼玉県春季テニス選手権 ダブルス優勝

高校生からテニスを始め、テニススクールでの指導を受けた事で埼玉県大会で優勝する等、数々のタイトルを獲得している成長著しい熱血コーチです。テニスへの真直ぐな姿勢は、妥協を許さず、熱い指導に定評があります。

○ 部長よりコメント

今回、部長を仰せつかりました金子です。田中監督の下、全国へ通用する多くの選手を輩出できるよう、全力で頑張ります。私自身も、テニススクールでコーチの指導を受けて上達をしました。きちんとした指導を受ける事で、上達のスピードは全く変わります。私の持てるスキルを全てお伝えしてきます。また、テニスを通して人間性の成長も一緒に行って行きたいと思っております。

テニスを通じて沢山の事を学び成長できる喜びを実感します

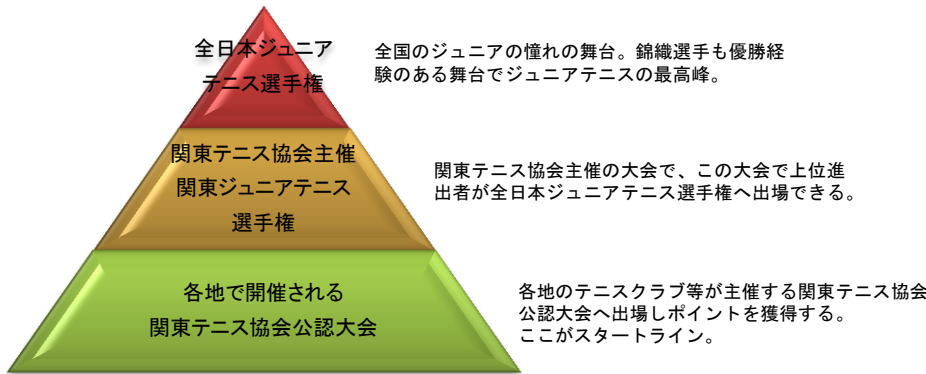
心・技・体を磨く事が 将来の人間性に大きく関わります

国内ジュニアトーナメント

全国のジュニアテニスプレーヤーが出場を目指す大会、それが「全日本ジュニアテニス選手権」です。日本中のテニスプレーヤーの中から日本一を決定する全日本テニス選手権のジュニア版であり、毎年夏に開催され各年代ごとのジュニアの日本一を決定します。これは、中学校の部活動の全国大会とは違い、部活動に所属していないジュニア選手も出場出来る為、よりレベルの高い全国大会と位置付けられています。

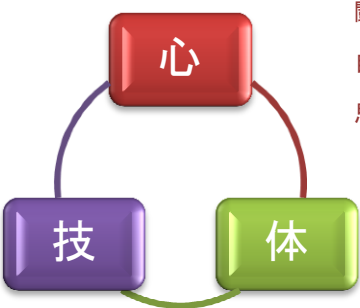
試合は12歳・14歳・16歳・18歳の4つのレベルに分かれ、男女シングルス・ダブルスの4つの種目があります。この試合に出場するためには地方予選である関東ジュニアテニス選手権大会で勝ちあがる必要があります。地方予選は関東テニス協会が運営する関東ジュニアランキングの順位によって出場者が決まる為、各地で開催される公認大会へ出場してポイントを稼ぎ、ランキングの順位を上げる必要があります。

BUKATSUDOクラスは、本気でテニスに取り組むジュニア達をマネジメントの部分でもサポートしていきます。



心・技・体

中学部活動では技術の習得は出来ますが心と体の鍛錬が軽視されがちです。BUKATSUDOクラスでは、技術習得はもちろん、メンタルトレーニング、フィジカルトレーニングも多く取り入れ、テニスを通じて人間性の育成にも取り組みます。



- 闘争心** テニスに限らず一般社会の中でも必要な戦うための意識を付けます。
- 自信** 自信を付ける事で現れ方が変わりその後の行動も変わって行きます。
- 思考力** 自ら考える力を付ける事で自立した人間に育ちます。
- ショット** プロコーチが徹底的に指導いたします。
- ボディワーク** フットワーク等の体の使い方も指導します。
- 対話力** 対人関係を学ぶことで主張する力や相手の考えを読む力を付けます。
- 持久力** テニスだけではなく学習にも必要な体力を付けます。
- 筋力** やみくもなトレーニングでは無く運動生理学に基づいた効率の良いトレーニングを行います。
- スピード** 近年の展開の速いテニスに着いて行けるスピードを身に付けます。

Vision and Challenge

テニスは世界共通のスポーツであり生涯にわたり楽しめるスポーツです

気軽に楽しく始められるテニスが 生涯スポーツとして注目されている

世界のテニス競技人口は1億1000万人

テニスの競技人口は世界で1億1000万人いると言われています。（スポーツマーケティングサーベイ調べ）これは多くのスポーツがある中で競技人口の多さでは第4位です。テニスは世界共通のスポーツであり、世界各地で年間を通して多くの大会が開かれています。2014年全米オープンでの錦織選手の活躍により国内ではテニスブームが復活し、国内のテニス競技人口が長年の微減傾向から平成26年度には微増に転じました。錦織選手の活躍によってアジア人でも世界で通用する可能性が証明され、世界の舞台を目指してジュニア時代から海外を拠点にする選手が増え、日本のテニス界はこれから益々の発展を遂げようとしています。

世界のスポーツ別競技人口

	スポーツ名	競技人口
1位	バスケットボール	4億5,000万人
2位	サッカー	2億5,000万人
3位	クリケット	1億数千万人
4位	テニス	1億1,000万人
5位	ゴルフ	6,500万人

※世界スポーツ連盟の登録数による

日本の部活動ではメジャーなスポーツである野球やバレーボール等よりも、世界の競技人口ではテニスの方が多。テニスは正に世界基準のスポーツである。

競技年代層の広いテニス

テニスは老若男女と一緒にプレーできる数少ないスポーツです。多くのテニススクールでは4歳からテニスを始める事が出来、80歳を超えても現役でテニスが続けているプレーヤーが沢山います。幅広い年齢層に合わせて多く大会が年齢別にカテゴリーを分けて試合を開催しており、ジュニアからベテラン、シニアまで年代ごとにテニスを楽しめるように細かくレベル分けがされています。国際的な大会でも年齢別にカテゴリーを分けて試合を行っており、世界でもテニスプレーヤーの年齢層の幅広さは同じです。年齢は違ってもルールやコート、使用するラケットやボールは同じであるため、一緒のコートでプレーをする事が可能です。年齢ごとにプレースタイルを変える事で、テニスは長く続けることができます。テニスはまさに様々な年代と一緒にプレーできる生涯スポーツです。

生涯スポーツのとしてのさらなる可能性

近年、成人病や生活習慣病の予防、改善としてスポーツの実施を文部科学省が推奨しており、平成元年からスポーツを行う人の割合は右肩上がりとなっています。さらに、「老若男女が気軽にできるスポーツ」として生涯スポーツの普及も推奨されています。中でもウォーキングやジョギング等一人で簡単に始められるスポーツが話題となっていますが、一人で出来るスポーツは記録への挑戦が殆どであり、長期に渡ると飽きてしまう傾向にあります。そんな中で、ゲーム性に優れ2人からプレーできるテニスは生涯スポーツとして注目を集めています。地域のコミュニティだけでなく、民間企業が多く参画しているテニスは、全国にテニススクールが存在し気軽にプレーできる環境が整っています。沢山あるスポーツの中で、仲間と楽しく、ゲーム性を備え、気軽に始められるという要素を備えたテニスが、今、生涯スポーツとして大きな期待をされています。

運動と勉強の両立が図れるBUKATSUDOクラス

運動と勉強の密接な関係に注目 テニス培った集中力を学習に生かす

運動が出来ると勉強も出来る

テニスに限らずスポーツで必要とされる集中力が、学習時の集中力と密接な関係にある事は昨今多くの研究者が学会で発表を行っています。
高校野球で全国優勝した高校球児が、東京大学や早慶上智等の有名私大へ合格したケースも数多くあります。運動と勉強は、今や切っても切り離せない関係であり、テニスで培った集中力が学習効率を良くし、学習で培う想像力や思考法がテニスの戦術やプレーの幅を広げていきます。

効率の良いスケジュール

テニスの日と学習の日を分ける事で、それぞれ集中的に取り組む事が出来ます。部活動が終わった後で学習塾に行き、同じ日に運動と勉強を行う場合がありますが、部活動で疲れ切った後に勉強をしても、疲れた身体と頭では学習内容もなかなか身になりません。
BUKATSUDOクラスではプロコーチが指導するため、1回のレッスンの運動量と身に付くスキルは、指導者の居ない部活動とは比べ物になりません。運動の日はみっちり体を鍛え、勉強の日は頭を鍛えながら身体は休める。運動と勉強の日を分ける効率の良いスケジュールがそれぞれに集中できる環境を整え、文武共に最高の結果を導きます。



部活等の運動後の勉強は身体が疲れてしまい効率が悪い。

運動と勉強の日を分ける事でそれぞれに集中でき効率の良い習得が可能に。

学年で運動と学習の比率を変える

中学も3年生になると、受験勉強をスタートさせる子供が殆どです。日本の高校進学率は97%と高い進学率であり、受験勉強の学習時間の確保は非常に重要な課題です。多くの中学部活動は夏の大会を最後に引退し本格的な受験勉強に入りますが、その直前は部活動の練習も大詰めであり、とても勉強との両立をするには大変な状況になります。

そんな大切な時期もBUKATSUDOクラスならば、運動と勉強の頻度を自由に調整できる為、それぞれに効率を落とさず事無く受験勉強を進める事が可能です。

Scholarship and the martial arts

モデルケース

中学1年生のサイクルモデル

	月	火	水	木	金	土	日
6:00	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7:00	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食	朝食
8:00	学校	学校	学校	学校	学校	大会出場 練習試合	自由
9:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							昼食
14:00							自由
15:00							
16:00	移動	移動 自由	移動	移動 自由	移動	自由	
17:00	BUKATSUDO	勉強・宿題	BUKATSUDO	勉強・宿題	BUKATSUDO		
18:00		夕食・移動		夕食・移動			自由
19:00	夕食・自由	塾	夕食・自由	塾	夕食・自由		夕食・自由
20:00	勉強・宿題	移動	勉強・宿題	移動	勉強・宿題		勉強・宿題
21:00	入浴・自由	入浴・自由	入浴・自由	入浴・自由	入浴・自由		入浴・自由
22:00	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠		睡眠

テニス4日 学習2日

中学1年生ではテニスを週3日行い、週2日学習塾へ通い勉強を行います。土曜日は大会出場や練習試合を行い、テニスの実績を作ります。学習塾によって授業日は様々ですが、BUKATSUDOクラスは平日全てにクラスがある為、学習塾の合わせてクラス変更が可能。運動の日と学習塾の日をきちんと分ける事が可能です。



勉強と運動の日を分ける事でそれぞれの習得効率を上げます。

中学3年生のサイクルモデル

	月	火	水	木	金	土	日	
6:00	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	
7:00	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食	朝食	
8:00	学校	学校	学校	学校	学校	塾・模試	塾	
9:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00							昼食	
14:00							塾	
15:00								
16:00	移動 自由	移動 自由	移動	移動 自由	移動 自由	自由		
17:00	勉強・宿題	勉強・宿題	BUKATSUDO	勉強・宿題	勉強・宿題			
18:00	夕食・移動	夕食・移動		夕食・自由	夕食・移動		自由	
19:00	塾	塾	勉強・宿題	勉強	塾		夕食・自由	夕食・自由
20:00			勉強・宿題				勉強・宿題	
21:00	入浴・自由	入浴・自由	入浴・自由	入浴・自由	入浴・自由		入浴・自由	
22:00	移動 入浴・自由	移動 入浴・自由	睡眠	入浴・自由	移動 入浴・自由		睡眠	睡眠
23:00	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠		

テニス1日 学習6日

中学3年生では学習塾や自宅での受験勉強が中心になります。勉強の疲れをリフレッシュする事と、受験勉強に必要な体力の維持の為に週1日BUKATSUDOクラスで汗を流します。

勉強ばかりのストレスは、大人でも辛いはずなのに、子供にとってはもっと辛いものです。子供にもリフレッシュの時間は必要であり、偏った思考にならない為にも、定期的な運動が必要となります。